

# サキホコレ学園

Bチームが行く!



仕事もプライベートも充実した秋田ライフを送りたい。学園のメンバーが人生の『パイセン』に、仕事のこと、プライベートのこと、何でも聞いちゃいました!

## 株式会社タニタ秋田

今回サキホコレ学園Bチームが訪れたのは、「はかる」を通して世界の人々の健康づくりに貢献しているタニタの生産拠点、タニタ秋田!ここで働く先輩はどんな仕事をして、どんなライフスタイルを送っているのでしょうか。話を聞くため、大きな工場と一体になったオフィスへ突撃します!

今回のパイセン



堀江さん

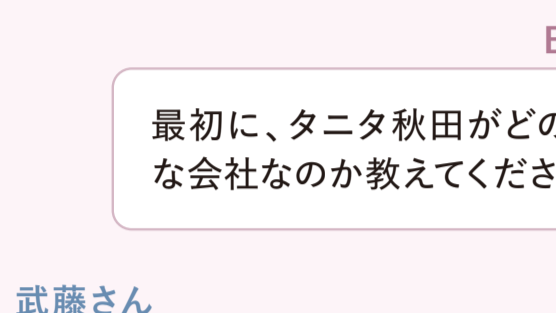
Bチーム

本日はよろしくお願いします!



武藤さん

こちらこそよろしくお願いします。管理部の武藤と申します。



堀江さん

総務部の堀江です。よろしくお願いします。

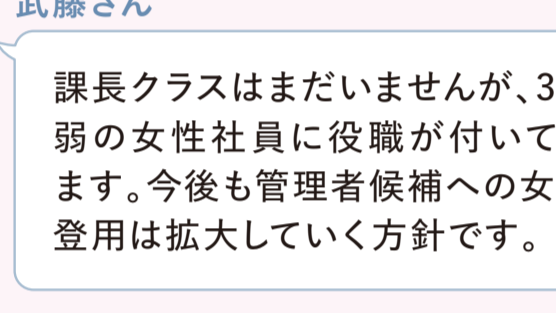
Bチーム

最初に、タニタ秋田がどのような会社なのか教えてください。



武藤さん

タニタグループは、人々の健康習慣を支えるものづくり企業です。タニタ秋田はグループ唯一の国内生産拠点で、家庭用、業務用、医療用計測器の設計から組み立て、アフターサービスまでを一貫して手がけています。タニタの製品で「Made in Japan」と表記されているものは、すべてここで作られたものなんです。



Bチーム

従業員数はどれくらいですか?



武藤さん

約210名です。そのうち約半数が女性です。

Bチーム

女性管理職の割合はどのようになっていますか?



武藤さん

課長クラスはまだいませんが、3割弱の女性社員に役職が付いています。今後も管理者候補への女性登用は拡大していく方針です。

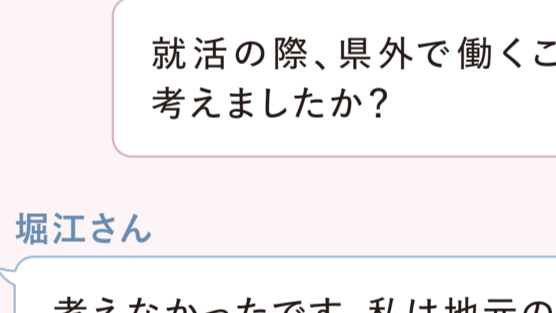
Bチーム

従業員が仕事とプライベートを両立できるように取り組んでいることはありますか?



武藤さん

従業員には常日頃から、休暇制度などの福利厚生制度について周知するとともに、積極的に利用するよう働きかけています。直近2年の育児休暇取得率は100%で、妊娠中や育休明けの短時間勤務等についても気後れせずに利用できる雰囲気が浸透してきていると思います。実際、出産、育児といった大きなライフイベントを経て、長く働き続ける女性社員がとても多いです。



Bチーム

堀江さんはどうしてタニタ秋田で働こうと思ったのですか?



堀江さん

知名度のある大きな企業なので親を安心させられると思ったのがひとつ、あとは男女の区分けがなく、いろいろな業務を経験させてもらえる環境が整っていたからです。私も入社当初は工場で製造作業に携わっていましたが、今は総務部に勤務しています。



Bチーム

就活の際、県外で働くことも考えましたか?



堀江さん

考えなかったです。私は地元の大仙市と実家以上に、自分の心が安らぐ場所はないと思っています。

Bチーム

秋田のどこが好きですか?



堀江さん

田舎ならではのゆったりした時間の流れや雰囲気ですね。四季折々の景色を眺めながら会社と家を行き来する時間も都会で暮らす人から見れば、すごく贅沢なんじゃないかなって思うことがあります。

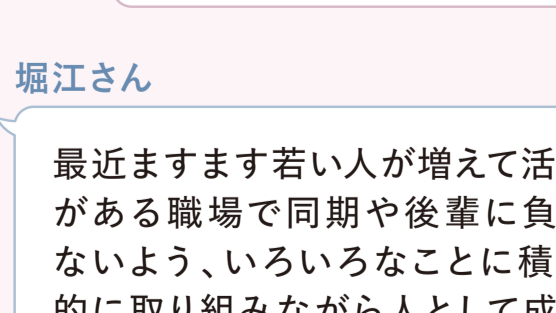
Bチーム

不便さを感じることはありませんか?



堀江さん

流行の服が買えるお店が少ないとか、その程度ですね。今はネットショップがありますし、日々の暮らしに最低限必要なものが近場で手に入らないということもないので。私は十分、今の暮らしに満足しています。



Bチーム

残業やお休みはどうなっていますか?



武藤さん

タニタ秋田の残業は全社員平均で5.1時間、基本的に土日祝は休みで、有休を含めると年間休日は120日前後あります。有休は1時間単位で取れるようになっていて、子育て世帯は、子どもが急に熱を出して保育園に迎えに行かなければならなくなった場合などに利用していますよ。

Bチーム

とても充実していますね。お休みの日、堀江さんはどのように過ごしていますか?



堀江さん

県内で小旅行を楽しんだり、小学生の弟が野球をやっているので試合会場に応援に行ったり。冬はよくスノーボードに行きます。コロナ禍が落ち着いたら、少し遠くにも足を延ばせたらと思っています。

Bチーム

最後に、堀江さんの今後の目標を教えてください。



堀江さん

最近ますます若い人が増えて活気がある職場で同期や後輩に負けないよう、いろいろなことに積極的に取り組みながら人として成長していけたらと思っています。



女性が自分らしく働き、自分らしい暮らしを送るためのカギは、女性の活躍を後押ししてくれる会社の仕組みや雰囲気。将来、いろいろなライフイベントに直面する可能性のある私たちは、就職先を決める際、この部分も重視しなければならぬと思いました。気づかせてくれたタニタ秋田のお二人に感謝!